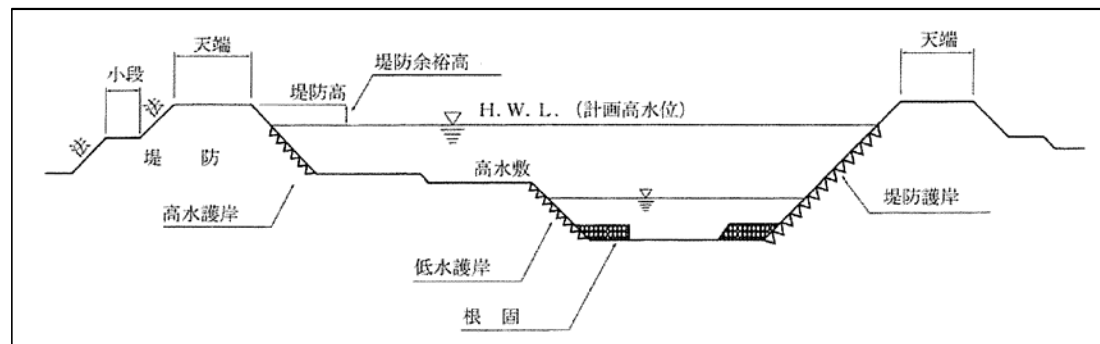


用語の説明

- (1) 重要水防箇所……洪水時の堤防等の監視、巡視、水防活動において、特に注意する必要のある箇所。ただし、洪水時には、堤防が完成していても、また重要水防箇所でなくても水防活動は必要である。
- (2) 計画高水流量……築堤等の改修工事（高水工事）を行う場合に計画の基準となる流量。
- (3) 計画高水位（H. W. L.）…計画高水流量を安全に流下させる場合の河川の水位。
- (4) 計画堤防余裕高…堤防の高さを決める際に異常出水や波浪など予想して計画高水位以上に適当な余裕を見込んだ高さをいう。

図-1



- (5) 法 勾 配……図-1のように斜面の部分^{ノリ}を法という。
- (6) 天 端 巾……堤防の上の部分で、計画高水流量により設定している。
(最上川中流・最上小国川・丹生川：6.0m)
(鮭川・真室川：5.0m)
(金山川：4.0m)
- (7) 暫定断面（堤防が暫定断面である。）……
図-1のように、計画されている堤防を施工する場合、地盤がやわらかい所等の条件により、完成堤防を作らず、ある高さまで施工し、数年後に完成させる場合がある。この完成されていない途中の低い堤防を暫定断面の堤防と表現している。
- (8) 法 崩 壊……堤防法面はほとんど芝が張られているが、この法が崩れ落ちることをいう。

(9) 改 修 計 画……最上川中流の洪水、利水、環境についてあらゆる面から検討し、堤防、護岸、構造物等が計画されているもの。

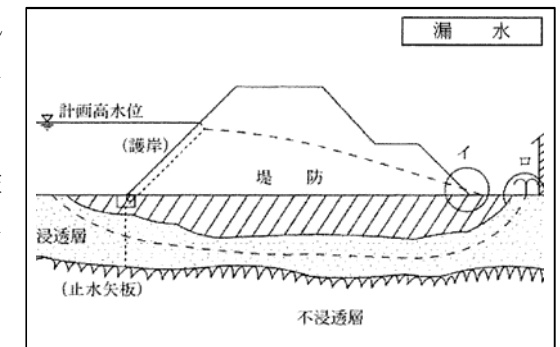
(10) か さ 上 げ… 暫定堤防等を計画堤防の高さまで盛土すること。

(11) 腹 付 け……堤防断面が小さいため、堤防法面等に盛土すること。

(12) 漏 水……川の水位が上昇し、堤防や、堤防の下の方から川の水がにじみ出たり、ふき出る状態^{ロウスイ}を漏水という。

(13) 根 固……護岸法留部にブロック等が乱積されている。これを^{ネガタメ}根固といい、水が常時当たって河床が掘られることを防ぐために施工されている。

図-2



(14) 水 衝……水が堤防に当たる部分^{スイショウ}を水衝という。

(15) 洗 掘……堤防の法面、低水路（常時水の流れているところ）法面がかけていくことを洗掘という。

(16) 霞 堤……堤防が一連でつながっていない所。

図-3

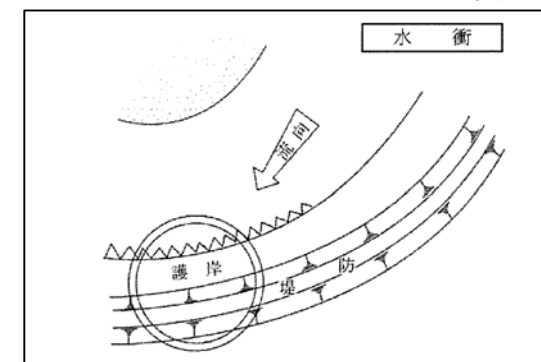


図-4

